
Create!Form Magicfolder Plus

アップデートマニュアル (V11)

2018年8月
インフォテック株式会社

目次

第 1 章	はじめに	1
第 2 章	旧バージョンの Create!Form Magicfolder からのアップデート	2
2.1	互換性の概要	2
2.2	アップデートの手順	7
第 3 章	Create!Form PrintJobServer からのアップデート	12
3.1	互換性の概要	12
3.2	アップデートの手順	16
第 4 章	その他	25
4.1	導入ディレクトリ	25
第 5 章	おわりに	27

第 1 章

はじめに

Create!Form は、帳票および定型ドキュメントの出力を担うソフトウェアパッケージ製品として開発され、多様な業務システムに組み込み利用されています。一度システムに組み込まれ業務運用を始めれば何年も稼動しますが、経年の途中でソフトウェア環境を新しいものに入替える事態も発生します。こういった場合、出来るだけ同じ仕様の製品が提供されていることが望まれます。これが製品における互換性の課題となります。

Create!Form は従来のものと互換性のある最新の製品をご提供できるように製品開発に取り組んでいます。ハードウェアと OS 環境の変化に合わせていく事、または利用技術の変化や市場のニーズに追従させる事などの目的で改良を行いますが、この改良を行う時には、従来の仕様の上に互換性を保って改良を行うことを基準にしています。

しかしながら、将来的に変更を行うことが望ましい場合、従来の仕様を変更する場合があります。こういった場合でも、可能な限り従来の機能を利用できる手法をご提供するよう努力しています。このような事情について、ご理解をいただけるようお願い申し上げます。

第 2 章

旧バージョンの Create!Form Magicfolder からのアップデート

Create!Form Magicfolder Plus は、旧バージョンの Create!Form Magicfolder から設定を引き継いで利用することができます。

ここでは、旧バージョンの Create!Form Magicfolder からのアップデートについて記載します。

ヒント: Create!Form PrintJobServer をご利用の場合は、[Create!Form PrintJobServer からのアップデート](#)をご覧ください。

2.1 互換性の概要

アップデートにおいて基本的には互換性がありますが、一部の仕様に変更された影響により、そのままでは実行時にエラーが発生したり、出力結果に差異を生じる場合があります。ここでは、アップデートによって互換性に影響する仕様の変更点について記載します。

1. フィルタ機能のパラメータ
2. ルール機能の区切り文字の扱い
3. 作業ディレクトリの配置場所
4. フィルタ機能の名称と最大登録数
5. ルール機能による作業ディレクトリの指定
6. パラメータの展開内容
7. 監視フォルダの処理順序
8. *Windows* サービス名

2.1.1 フィルタ機能のパラメータ

【対象バージョン】

V7、V8

【内容】

V8 以前からアップデートする場合、フィルタ機能で 사용할 ことができるパラメータは以下のパラメータに置き換わります。

アップデート前	アップデート後
%in	\${in}
%out	\${out}
%mfd	mfd ファイルのファイル名 (拡張子を含む)
%dopt	\${cf.opt.D}
%sopt	\${cf.opt.s}

【対処】

アップデート後に mfd ファイルのファイル名ではなく、監視フォルダ設定ファイルのフルパスを参照する必要がある場合は、展開された「mfd ファイルのファイル名」を「ユーザー設定ディレクトリ /sites/(監視フォルダ設定ファイル名)」に置き換えてください。

2.1.2 ルール機能の区切り文字の扱い

【対象バージョン】

V9、V10.03 以前

【内容】

V11 の初期設定では、監視フォルダのルール機能の区切り文字をファイル名の先頭や末尾および連続して使用した場合、1 つのパラメータの項目として認識します。

【対処】

従来のようにファイル名の先頭や末尾および連続した区切り文字を 1 つのパラメータの項目として扱いたくない場合は、監視フォルダ設定の拡張設定へ「ext.filename.token」を「false」に設定してください。

2.1.3 作業ディレクトリの配置場所

【対象バージョン】

V7、V8、V9、V10

【内容】

V11 では帳票資源ディレクトリの直下に配置した作業ディレクトリのみが Create!Form Magicfolder Plus から利用可能となります。帳票資源ディレクトリにサブディレクトリを作成し、サブディレクトリ内に配置した作業ディレクトリや、帳票資源ディレクトリ以外のディレクトリに配置した作業ディレクトリは Create!Form Magicfolder Plus から利用できません。

【対処】

帳票資源ディレクトリの直下に作業ディレクトリを配置してください。

帳票資源ディレクトリは、帳票一覧画面から確認することができます。

2.1.4 フィルタ機能の名称と最大登録数

【対象バージョン】

V7、V8、V9、V10

【内容】

フィルタ機能の名称は以下のように変更されます。

アップデート前	アップデート後
前処理フィルタ	フィルタ (ファイル検知時)
-	フィルタ (実行前)
後処理フィルタ	フィルタ (実行後)

また、フィルタの最大登録数も変更されています。「フィルタ (ファイル検知時)」は V9 以降と同様に最大登録数が 10 個ですが、「フィルタ (実行前)」と「フィルタ (実行後)」については内部でフィルタが 1 個予約されているため、最大登録数が 9 個となります。

【対処】

「フィルタ (実行後)」で 10 個のフィルタを登録したい場合は、フィルタを処理するための監視フォルダ設定を用意して監視フォルダが 2 段構成となるように登録します。ここでは既存の監視フォルダを 1 段目、

フィルタを処理するためだけの監視フォルダを2段目として説明します。

2段目の監視フォルダ設定の実行モードは「-」に設定して Create!Form ランタイムを実行しない設定とし、処理したいフィルタを登録します。1段目の監視フォルダ設定の「フィルタ (実行後)」では、プログラム実行のフィルタとパラメータ「\${in}」を使用して入力データファイルが2段目の監視フォルダへコピーされるように設定します。このように設定することで、1段目の監視フォルダの処理が終わった後で入力データファイルが2段目の監視フォルダへコピーされ、2段目の監視フォルダでフィルタのみが処理されるようになります。

2.1.5 ルール機能による作業ディレクトリの指定

[対象バージョン]

V7、V8、V9、V10

[内容]

作業ディレクトリの配置場所の仕様が変更された影響により、ルール機能を使用して作業ディレクトリ (アノテーションによるパラメータ「**cf.opt.D**」の指定を含む) を変更する際は、作業ディレクトリのフルパス部分は無視され、ディレクトリ名のみが使用されます。

[対処]

作業ディレクトリは V10 以前と同様にフルパスで指定することも可能ですが、ディレクトリ名のみが使用されるため、指定したディレクトリ名 (作業ディレクトリ) が帳票資源ディレクトリに配置されている必要があります。また、V11 ではフルパスによる指定のほか、ディレクトリ名のみ指定にも対応しています。

2.1.6 パラメータの展開内容

[対象バージョン]

V7、V8、V9、V10

[内容]

フィルタ機能やエラー処理で利用可能なパラメータの展開内容は以下のように変更されます。

パラメータ	アップデート前	アップデート後
job.form.name	ジョブファイルの帳票名	帳票情報画面で設定した帳票名 *1
mf.directory.id	監視フォルダ設定ファイル名	監視フォルダ ID

*1 帳票情報画面で帳票名を変更していない場合はジョブファイルの帳票名となります。

【対処】

job.form.name

帳票一覧画面から帳票情報画面を表示し、帳票名を変更してください。

mf.directory.id

監視フォルダ設定ファイル名を展開するためのパラメータは存在しないため、監視フォルダ ID を固定で直接指定してください。

2.1.7 監視フォルダの処理順序

【対象バージョン】

V7、V8、V9、V10

【内容】

V11 では、データファイルの処理順序として「投入順」または「コピー完了順」から指定できます。「投入順」では、監視フォルダへデータファイルを投入した順に処理を行います。一方の「コピー完了順」では、監視フォルダへコピーされたデータファイルのうち、コピーが早く完了したデータファイルから先に処理を行います。

V10 以前は「コピー完了順」で処理を行っていましたが、V11 の初期設定では「投入順」で処理が行われます。

【対処】

監視フォルダ設定画面の監視フォルダ共通設定ダイアログからデータファイルの処理順序を「コピー完了順」に変更することで V10 以前と同様の処理となります。

2.1.8 Windows サービス名

【対象バージョン】

V9、V10

【内容】

Windows のサービスの名称は以下のように変更されます。(括弧内の名称はサービスモジュール名)

アップデート前	アップデート後
Create! FormMagicfolder V10 (magicfolderd10) *2	Create!Form Commons Container Service V11 (cfccd11)

【対処】

Create!Form Magicfolder Plus のサービスの制御を行う場合は、ホーム画面の状態のボタンまたは「プログラムディレクトリ /bin」に配置されている「magicfolder.bat」のコマンドから制御します。

Windows サービスのログオンアカウントの変更を行う場合は、「Create!Form Commons Container Service V11」のログオンアカウントを変更してください。

2.2 アップデートの手順

アップデートは、以下の手順に従って行います。

1. アップデートツールによる帳票資源ファイルのアップデート
2. 帳票資源ディレクトリへの帳票の配置
3. 帳票の出力先ディレクトリやプリンタドライバの準備
4. フィルタプログラムの移行
5. 監視フォルダ設定ファイルのインポート

1. アップデートツールによる帳票資源ファイルのアップデート

旧バージョンの Create!Form ランタイムで使用していた帳票資源ファイルをアップデートします。

帳票資源ファイルのアップデートは、Create!Form Design 製品に付属のアップデートツールを使用します。詳しくは、Create!Form 帳票サポートサイトの「技術資料」にある「Create!Form V11 アップデートマニュアル」をご覧ください。

2. 帳票資源ディレクトリへの帳票の配置

帳票資源ファイルのアップデートが完了しましたら、Create!Form Magicfolder Plus の帳票資源ディレクトリへアップデートした帳票資源ファイルを配置します。

帳票資源ファイルは「form」「datamap」「style」のサブディレクトリを含む作業ディレクトリをそのまま帳票資源ディレクトリへ配置します。

*2 V9 の場合は Create! FormMagicfolder V9 (magicfolderd) です。

例えば、アップデートした帳票資源ファイルの作業ディレクトリが「DetailedStatement」の場合、以下のようなディレクトリ構成で配置します。

```
(帳票資源ディレクトリ)
+- [DetailedStatement]
  +- [form]
  +- [datamap]
  +- [style]
```

帳票資源ディレクトリは、帳票一覧画面から確認することができます。

3. 帳票の出力先ディレクトリやプリンタドライバの準備

帳票資源ディレクトリへの帳票の配置が完了しましたら、帳票の出力先のディレクトリやプリンタドライバを準備します。

PDF ファイルを任意のディレクトリへ出力する場合は、アップデート元と同じ出力先ディレクトリを作成します。また、任意のプリンタへ印刷する場合は、アップデート元と同じプリンタドライバをインストールし、プリンタへの印刷を可能な状態にします。

4. フィルタプログラムの移行

旧バージョンの Create!Form Magicfolder のフィルタやエラー処理の「プログラム実行」にて個別開発したフィルタプログラムを使用している場合、フィルタプログラムを移行先の環境へコピーします。なお、移行時に移行元の環境と異なるディレクトリパス上に配置する場合は、次の「5」を実施した後でフィルタやエラー処理の「プログラム実行」の実行コマンドのパスを移行先のパスに変更してください。

5. 監視フォルダ設定ファイルのインポート

フィルタプログラムの移行が完了しましたら、監視フォルダ設定ファイルのインポートを行います。

まずは、インポートする監視フォルダ設定ファイルが配置されているディレクトリを確認します。

Create!Form Magicfolder V8 以前からアップデートする場合：

導入ディレクトリの直下にある「**mfd**」ディレクトリを使用します。

Create!Form Magicfolder V9 以降からアップデートする場合：

導入ディレクトリの直下にある「**sites**」ディレクトリを使用します。

上記のディレクトリから Create!Form Magicfolder Plus へアクセス可能なクライアントマシンなどへ監視フォ

ルダ設定ファイルをコピーしておきます。

クライアントマシンから Create!Form Magicfolder Plus へアクセスし、監視フォルダ設定画面を表示します。

注意: Internet Explorer 11 を使用して Create!Form Magicfolder Plus へアクセスする際は、Web ブラウザへサーバの「IP アドレス」を指定してアクセスしてください。「localhost」や「サーバのホスト名」を指定してアクセスする場合、監視フォルダ設定ファイルが正しくインポートされないため、以下のセキュリティ設定の変更が必要となります。

1. Internet Explorer 11 のメニュー [ツール]-[インターネット オプション] をクリックします。
2. インターネットオプションのダイアログが表示されるので、[セキュリティ] タブをクリックします。
3. [ローカルイントラネット] をクリックし、[レベルのカスタマイズ] ボタンをクリックします。
4. [その他]-[サーバーにファイルをアップロードするときにローカルディレクトリのパスを含める] を [無効にする] に変更します。
5. [OK] ボタンをクリックします。
6. 警告ダイアログが表示されるので [はい] ボタンをクリックします。
7. インターネットオプションのダイアログの [OK] ボタンをクリックします。



図 2.1 ホーム画面

「監視フォルダを追加する」 ボタンをクリックし、監視フォルダ登録ダイアログの右下にある「監視フォル

「監視フォルダ設定ファイルをインポートする」をクリックします。



図 2.2 監視フォルダ設定画面

ファイル選択ボタンが表示されるので、クライアントマシンへコピーした監視フォルダ設定ファイルを指定し、「インポート」ボタンをクリックします。

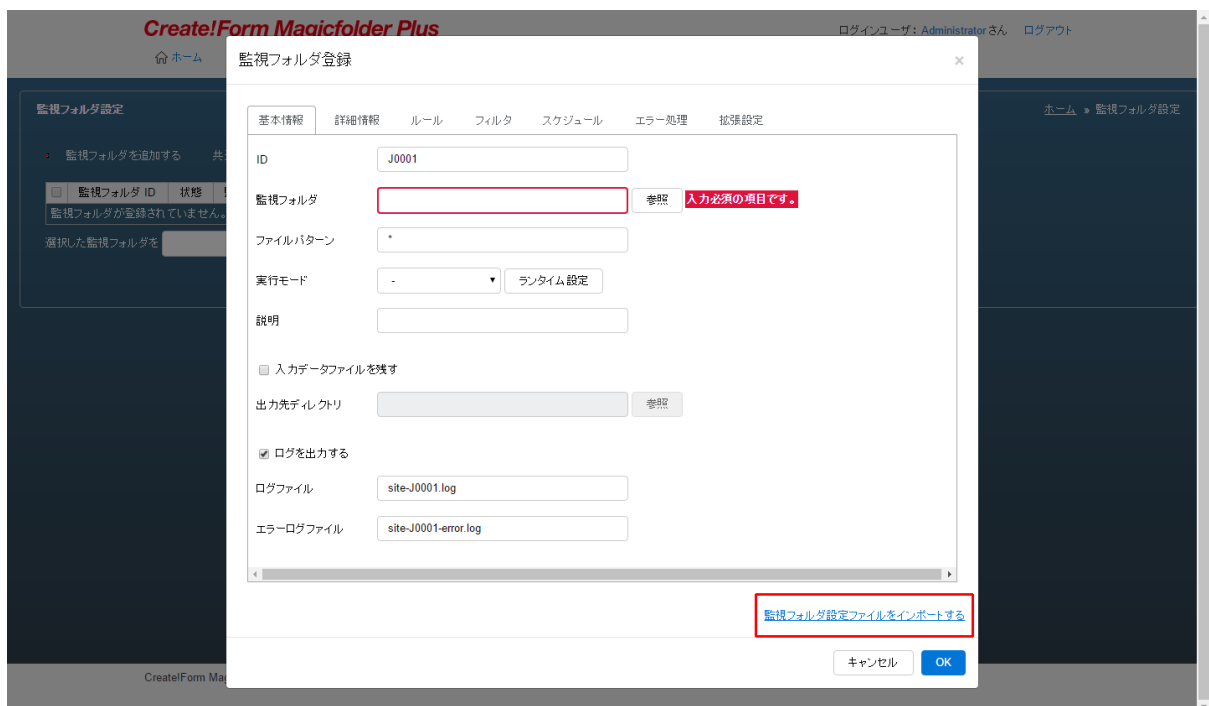


図 2.3 監視フォルダ登録ダイアログ

インポートが成功すると、監視フォルダパス、ランタイム設定、ルール、フィルタなどの設定が監視フォルダ登録ダイアログへ表示されます。そのまま「**OK**」ボタンで監視フォルダを追加します。

インポートする監視フォルダ設定ファイルが複数存在する場合は、ファイルの数だけインポートの操作を繰り返し行ってください。

以上で旧バージョンの Create!Form Magicfolder からのアップデートは完了です。監視フォルダの監視状態を「**開始**」に変更し、監視フォルダへ入力データファイルを投入して帳票が出力されることを確認してください。

ヒント：監視フォルダパスにネットワークドライブが指定されている場合、ログオンアカウントの変更が必要になります。詳しくは Create!Form Magicfolder Plus に付属のヘルプの「**4. 機能説明**」にある「**ログオンアカウントの変更**」をご覧ください。

第 3 章

Create!Form PrintJobServer からのアップデート

Create!Form Magicfolder Plus は、Create!Form PrintJobServer から設定を引き継いで利用することができます。

ここでは、Create!Form PrintJobServer からのアップデートについて記載します。

3.1 互換性の概要

アップデートにおいて基本的には互換性がありますが、一部の仕様が変更された影響により、そのままでは実行時にエラーが発生したり、出力結果に差異を生じる場合があります。ここでは、アップデートによって互換性に影響する仕様の変更点について記載します。

1. ジョブ定義のルール機能の区切り文字の扱い
2. ジョブデータ修正定義
3. ユーザグループに紐付くジョブデータ修正定義
4. ジョブ定義に紐付くユーザグループ
5. アーカイブ (印刷済みジョブ)
6. アーカイブの削除スケジュール
7. 監視フォルダ (ジョブ定義) の処理順序
8. 実行済みジョブの有効期限

3.1.1 ジョブ定義のルール機能の区切り文字の扱い

[対象バージョン]

V9、V10

[内容]

V11 の初期設定では、監視フォルダのルール機能の区切り文字をファイル名の先頭や末尾および連続して使用した場合、1つのパラメータの項目として認識します。

[対処]

従来のようにファイル名の先頭や末尾および連続した区切り文字を1つのパラメータの項目として扱いたくない場合は、監視フォルダ設定の拡張設定へ「ext.filename.token」を「false」に設定してください。

3.1.2 ジョブデータ修正定義

[対象バージョン]

V9、V10

[内容]

ジョブデータ修正定義は1つの帳票につき1つの定義だけ紐付くように変更されました。

[対処]

従来のように1つの帳票に複数のジョブデータ修正定義を定義し、ユーザごとに使い分けたい場合は、帳票のジョブファイルを分けて異なる帳票として定義する必要があります。

例えば、「月報 (geppo.sty)」というジョブファイルを使用している場合、「月報 (geppo1.sty)」と「月報 (geppo2.sty)」のように帳票の内容は同一で異なる帳票として分けておきます。それぞれの帳票でジョブデータ修正定義を定義し、権限設定画面の権限セットを使用してアクセス可能な帳票を制限することで従来のようにユーザごとにジョブデータ修正定義を使い分けることができます。

3.1.3 ユーザグループに紐付くジョブデータ修正定義

【対象バージョン】

V9、V10

【内容】

ジョブデータ修正定義はユーザグループに紐付かなくなり、帳票にのみ紐付くように変更されました。そのため、ジョブデータ修正定義が定義された帳票へのアクセスが可能なユーザは、その帳票のジョブデータの修正ができるようになります。

【対処】

ジョブデータの修正を制限したい場合は、権限設定画面の権限セットを使用してジョブデータ修正を制限するか、アクセス可能な帳票を制限してください。

3.1.4 ジョブ定義に紐付くユーザグループ

【対象バージョン】

V9、V10

【内容】

監視フォルダ(ジョブ定義)にユーザグループは紐付かないように変更されました。監視フォルダに設定されている帳票へのアクセスが可能なユーザは、監視フォルダにアクセスすることができます。

【対処】

監視フォルダへのアクセスを制限したい場合は、権限設定画面の権限セットを使用してアクセス可能な帳票を制限してください。

3.1.5 アーカイブ (印刷済みジョブ)

【対象バージョン】

V9、V10

【内容】

ジョブのアーカイブ機能は廃止されました。そのため、実行済みのジョブは月単位でアーカイブされたジョブ(印刷済みジョブ)として管理することはできません。

【対処】

月単位で不要なジョブを削除したい場合は、ストレージ画面からジョブを日付で絞り込んで削除してください。

3.1.6 アーカイブの削除スケジュール**【対象バージョン】**

V9、V10

【内容】

アーカイブ機能の廃止により、アーカイブの削除スケジュール機能も廃止されました。

【対処】

実行済みの不要なジョブを自動で削除したい場合は、ジョブ設定画面から実行済みジョブの有効期限を設定してください。

3.1.7 監視フォルダ (ジョブ定義) の処理順序**【対象バージョン】**

V9、V10

【内容】

監視フォルダへ投入したデータファイルの処理順序は「投入順」で処理するように変更されました。投入順の場合、監視フォルダへ投入されたファイルはファイルの投入順に処理されます。

【対処】

従来のように、監視フォルダへ投入されたファイルを転送完了順で処理したい場合、監視フォルダ設定画面の共通設定からデータファイルの処理順序を「コピー完了順」に変更してください。

3.1.8 実行済みジョブの有効期限

[対象バージョン]

V9、V10.02 以前

[内容]

Create!Form PrintJobServer の環境設定バックアップファイル (バックアップ対象 : 全て) をリストアする際、アーカイブ管理で設定した実行済みジョブデータの保存期間は「無期限」としてリストアされます。

[対処]

環境設定バックアップファイルのリストア後、Create!Form Magicfolder Plus のジョブ設定画面から実行済みジョブの有効期限を変更してください。

3.2 アップデートの手順

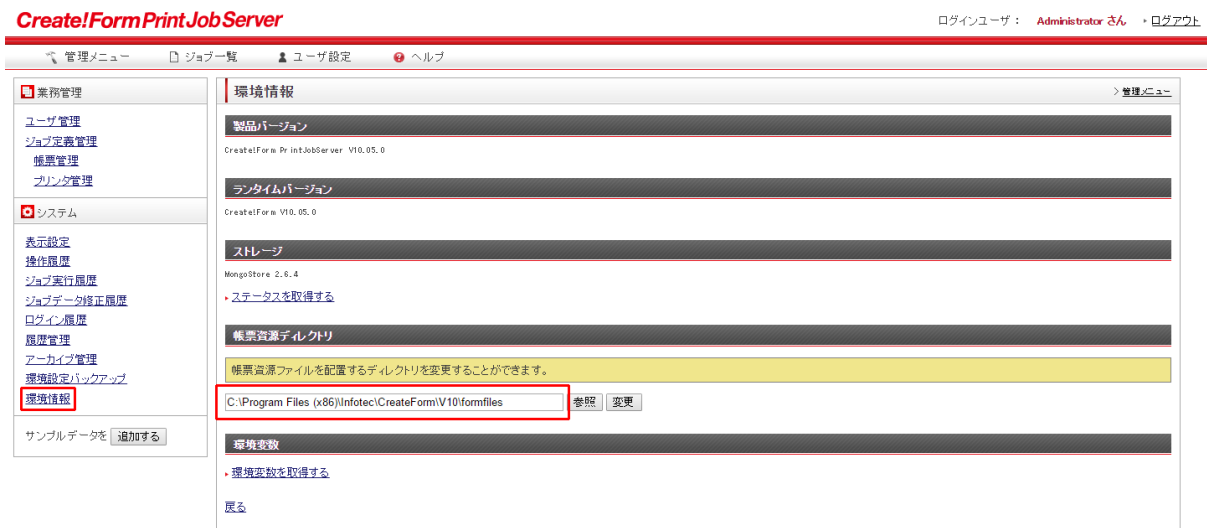
アップデートは、以下の手順に従って行います。

1. アップデートツールによる帳票資源ファイルのアップデート
2. 帳票資源ディレクトリへの帳票の配置
3. 帳票の出力先ディレクトリやプリンタドライバの準備
4. フィルタプログラムの移行
5. 環境設定のリストア
6. ジョブの移行

1. アップデートツールによる帳票資源ファイルのアップデート

Create!Form PrintJobServer で使用していた帳票資源ファイルをアップデートします。

帳票資源ファイルが配置されている帳票資源ディレクトリは Create!Form PrintJobServer の環境情報画面から確認することができます。



Create!Form PrintJobServer V10.05.0 / Copyright © 2015 Infotec, Inc.

図 3.1 環境情報画面

帳票資源ファイルのアップデートは、Create!Form Design 製品に付属のアップデートツールを使用します。詳しくは、Create!Form 帳票サポートサイトの「技術資料」にある「Create!Form V11 アップデートマニュアル」をご覧ください。

2. 帳票資源ディレクトリへの帳票の配置

帳票資源ファイルのアップデートが完了しましたら、Create!Form Magicfolder Plus の帳票資源ディレクトリへアップデートした帳票資源ファイルを配置します。

帳票資源ファイルは「form」「datamap」「style」のサブディレクトリを含む作業ディレクトリをそのまま帳票資源ディレクトリへ配置します。

例えば、アップデートした帳票資源ファイルの作業ディレクトリが「DetailedStatement」の場合、以下のようなディレクトリ構成で配置します。

```
(帳票資源ディレクトリ)
+- [DetailedStatement]
  +- [form]
  +- [datamap]
  +- [style]
```

帳票資源ディレクトリは、帳票一覧画面から確認することができます。

この帳票資源ディレクトリのパスは後で必要になるため、メモしておいてください。

3.2. アップデートの手順

3. 帳票の出力先ディレクトリやプリンタドライバの準備

帳票資源ディレクトリへの帳票の配置が完了しましたら、帳票の出力先のディレクトリやプリンタドライバを準備します。

PDF ファイルを任意のディレクトリへ出力する場合は、アップデート元と同じ出力先ディレクトリを作成します。また、任意のプリンタへ印刷する場合は、アップデート元と同じプリンタドライバをインストールし、プリンタへの印刷を可能な状態にします。

4. フィルタプログラムの移行

Create!Form PrintJobServer のフィルタやエラー処理の「プログラム実行」にて個別開発したフィルタプログラムを使用している場合、フィルタプログラムを移行先の環境へコピーします。なお、移行時に移行元の環境と異なるディレクトリパス上に配置する場合は、次の「5」を実施した後でフィルタやエラー処理の「プログラム実行」の実行コマンドのパスを移行先のパスに変更してください。

5. 環境設定のリストア

帳票の出力先ディレクトリやプリンタドライバの準備が完了しましたら、環境設定のリストアを行います。まずは、Create!Form PrintJobServer から環境設定のバックアップファイルを取得します。

管理者ユーザでログインし、管理メニュー画面の左側にある環境設定バックアップをクリックして環境設定バックアップ画面を表示します。環境設定バックアップ画面では、バックアップ対象として「全て」を選択し、「バックアップ」ボタンをクリックします。



図 3.2 環境設定バックアップ画面

バックアップファイルがダウンロードされるので、Create!Form Magicfolder Plus へアクセス可能なクライアントマシンなどへバックアップファイルをコピーしておきます。

次に、Create!Form Magicfolder Plus へ管理者ユーザでログインし、ホーム画面から「詳細設定」ボタンをクリック後、「環境設定バックアップ」ボタンをクリックして Create!Form Magicfolder Plus の環境設定バックアップ画面を表示します。

先ほど取得したバックアップファイルをバックアップデータとして指定し、「リストア」ボタンをクリックして環境設定のリストアを行います。



図 3.3 環境設定バックアップ画面

監視フォルダ設定、帳票定義、プリンタ定義などの環境設定がすべてリストアされます。

リストアによって帳票資源ディレクトリが Create!Form PrintJobServer の帳票資源ディレクトリに変更されてしまうため、帳票資源ディレクトリを再設定します。画面上部にある「帳票一覧」をクリックし、帳票一覧画面を表示します。

帳票資源ディレクトリを先ほどメモしておいた Create!Form Magicfolder Plus の帳票資源ディレクトリに再設定し、「変更」ボタンをクリックします。

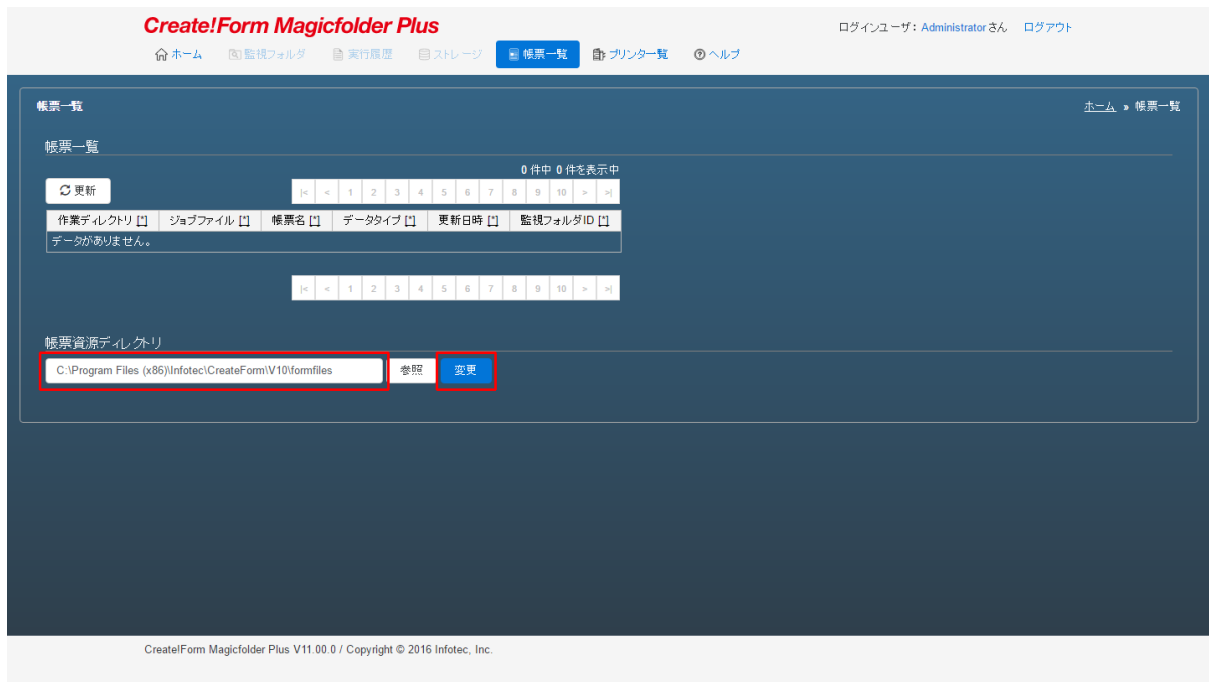


図 3.4 帳票一覧画面

帳票資源ディレクトリが正しく再設定されると、帳票一覧にアップデート済みの帳票資源ファイルの一覧が表示されます。

6. ジョブの移行

環境設定のリストアと帳票資源ディレクトリの再設定が完了しましたら、Create!Form PrintJobServer のストレージに格納されているジョブの移行を行います。

ヒント： Create!Form PrintJobServer のストレージに格納されているジョブの参照や再実行が必要な場合のみジョブの移行が必要です。ジョブの移行が不要な場合は、以降の操作は不要です。

まずは、Create!Form PrintJobServer で使用しているストレージの種別とバージョンを確認します。Create!Form PrintJobServer へ管理者ユーザでログインし、管理メニュー画面の左側にある環境情報をクリックして環境情報画面を表示します。

Create!Form PrintJobServer ログインユーザ: Administrator さん ・ ログアウト

管理メニュー ジョブ一覧 ユーザ設定 ヘルプ

業務管理

- ユーザ管理
- ジョブ定義管理
- 帳票管理
- プリンタ管理

システム

- 表示設定
- 操作履歴
- ジョブ実行履歴
- ジョブデータ修正履歴
- ログイン履歴
- 帳票管理
- アーカイブ管理
- 環境設定バックアップ
- 環境情報

サンプルデータを追加する

環境情報 管理メニュー

製品バージョン
Create!Form PrintJobServer V10.05.0

ランタイムバージョン
Create!Form V10.05.0

ストレージ
MongoStore 2.8.4
ステータスを取得する

帳票資源ディレクトリ
帳票資源ファイルを配置するディレクトリを変更することができます。
C:\Program Files (x86)\Infotec\CreateForm\10\formfiles 参照 変更

環境変数
環境変数を取得する
戻る

Create!Form PrintJobServer V10.05.0 / Copyright © 2015 Infotec, Inc.

図 3.5 環境情報画面

ストレージの項目に表示されているストレージの種別とバージョンを確認します。この内容は後で必要になるため、メモしておいてください。

次に、Create!Form PrintJobServer を導入しているサーバの Windows サービスを停止します。Create!Form PrintJobServer のサーバへログインし、「コントロールパネル」から「管理ツール」を開き、「サービス」を開きます。

以下の Windows サービスを停止します。

- Apache Tomcat (Create! FormPrintJobServer)
- Create! FormMagicfolder V9 または V10
- Create! FormRemoteObject V9 または V10
- Mongo DB

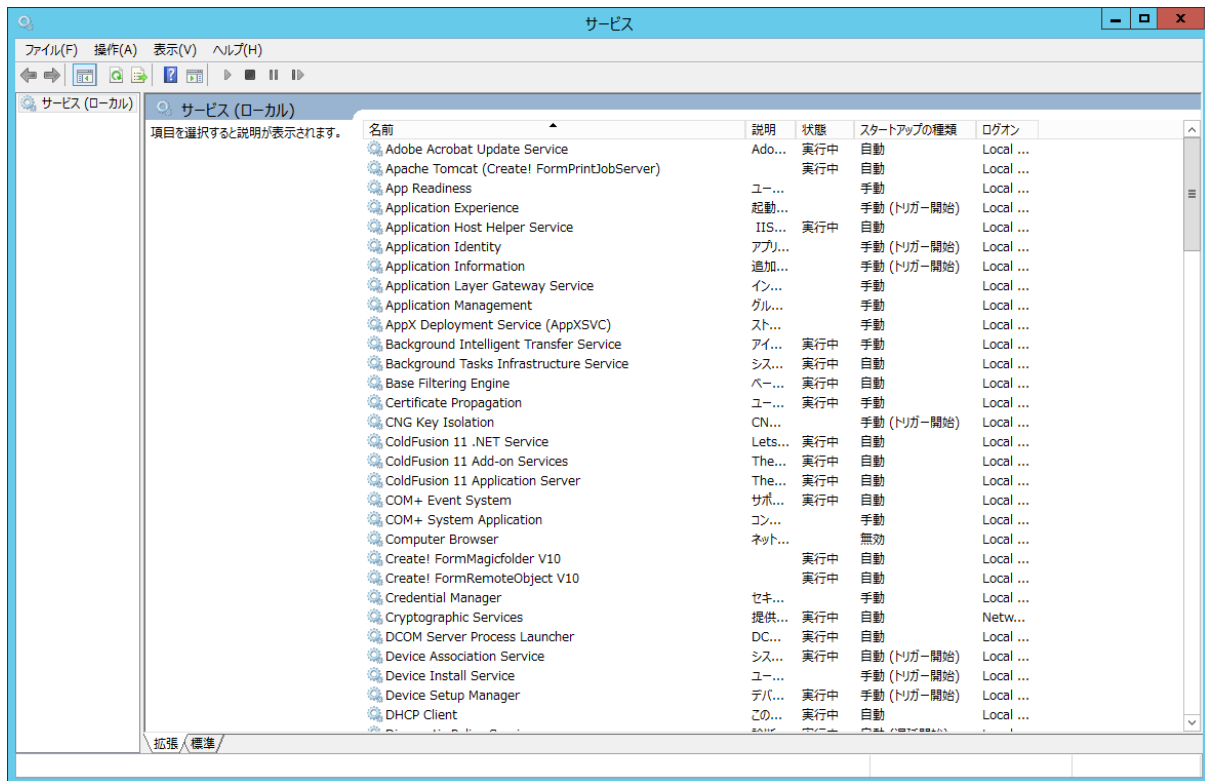


図 3.6 サービス画面

ヒント: Mongo DB サービスはストレージの種類が「MongoStore」の場合のみ存在します。

注意: サービスを停止すると Create!Form PrintJobServer へアクセスできなくなります。

Create!Form PrintJobServer の導入サーバ上のストレージを Create!Form Magicfolder Plus の導入サーバ上へコピーします。Create!Form PrintJobServer の導入ディレクトリ内にある「CreateForm\V9\var\storage」または「CreateForm\V10\var\storage」を以下のようにコピーしておきます。

■ Create!Form PrintJobServer V9 の場合のコピー例

コピー元 (Create!Form PrintJobServer の導入サーバ上):

C:\Program Files (x86)\InfotecArchitects\CreateForm\V9\var\storage

コピー先 (Create!Form Magicfolder Plus の導入サーバ上):

C:\work

■ Create!Form PrintJobServer V10 の場合のコピー例

コピー元 (Create!Form PrintJobServer の導入サーバ上) :

C:\Program Files (x86)\Infotec\CreateForm\V10\var\storage

コピー先 (Create!Form Magicfolder Plus の導入サーバ上) :

C:\work

ヒント: ストレージに蓄積されているジョブの数によりコピーに時間を要する場合があります。

コピーが完了しましたら、Create!Form Magicfolder Plus のホーム画面から「詳細設定」 ボタンをクリック後、「互換設定」 ボタンをクリックし、「ジョブ移行」 ボタンをクリックしてジョブ移行画面を表示します。

ストレージの種別に合わせて移行元ストレージを選択し、ストレージパスには先ほどコピーしたコピー先のディレクトリ内にある「storage」ディレクトリを指定します。

移行元ストレージ「DefaultStore」の場合は「標準ストレージ」、「MongoStore」の場合は「MongoDBストレージ」を選択します。また、MongoDB ストレージの場合はバージョンも指定します。

ストレージパス ストレージのコピー先「C:\work\storage」を指定します。



図 3.7 ジョブ移行画面

「移行」 ボタンをクリックすると、ジョブの移行処理が開始します。

ヒント：ストレージに蓄積されているジョブの数により移行に時間を要する場合があります。

ジョブの移行が完了すると、Create!Form Magicfolder Plus のストレージ画面から移行されたジョブを確認することができます。

以上で Create!Form PrintJobServer からのアップデートは完了です。監視フォルダの監視状態を「開始」に変更し、監視フォルダへ入力データファイルを投入して帳票が出力されることを確認してください。

ヒント：監視フォルダパスにネットワークドライブが指定されている場合、ログオンアカウントの変更が必要になります。詳しくは Create!Form Magicfolder に付属のヘルプの「**4. 機能説明**」にある「ログオンアカウントの変更」をご覧ください。

第 4 章

その他

4.1 導入ディレクトリ

4.1.1 プログラムディレクトリ

製品実行時に必要なプログラムモジュールファイルが格納されるディレクトリです。

初期設定では以下のディレクトリとなります。

Windows 環境

```
C:\Program Files (x86)\Infotec\CreateForm\11
```

Linux 環境

```
tar アーカイブを展開したディレクトリ
```

4.1.2 ユーザー設定ディレクトリ

製品実行時に必要な設定ファイル、製品実行時に変更されるファイルが格納されるディレクトリです。ini ファイル、ログ設定用ファイル、QDF ファイル、データ編集定義ファイル、フォント情報定義ファイル、カラーパレットファイル、印刷詳細設定ファイル、PDF セキュリティ設定ファイルなどが含まれます。

初期設定では以下のディレクトリとなります。

Windows 環境

```
C:\ProgramData\Infotec\CreateForm\11\conf\private
```

Linux 環境

```
tar アーカイブを展開したディレクトリ/conf
```

4.1.3 ユーザーデータディレクトリ

Create!Form により作成されるファイルが格納されるディレクトリです。実行ログ、ストレージなどのデータが含まれます。

初期設定では以下のディレクトリとなります。

Windows 環境

```
C:\ProgramData\Infotec\CreateForm\11\var
```

Linux 環境

```
tar アーカイブを展開したディレクトリ/var
```

4.1.4 帳票資源ディレクトリ

Create!Form Magicfolder Plus で使用する帳票資源ファイルが格納されるディレクトリです。

初期設定では以下のディレクトリとなります。

Windows 環境

```
C:\ProgramData\Infotec\CreateForm\11\work\jobs
```

Linux 環境

```
tar アーカイブを展開したディレクトリ/work/jobs
```

第 5 章

おわりに

本アップデートマニュアルは、新たに互換性に関する記載事項が発見された場合は、追加更新が行われます。最新のアップデートマニュアルは、Create!Form ユーザーサポートサイトよりダウンロードできます。また、アップデート作業に関してご質問がある場合、弊社サポート係までご連絡ください。

■ Create!Form ユーザーサポートサイト

URL : <https://support.createform.jp>

■ サポートお問い合わせ

E-Mail : support-c@iftc.co.jp

Create!Form Magicfolder Plus

アップデートマニュアル (V11)

発行日 2018 年 08 月 03 日 [第 3 版]

発行者 インフォテック株式会社